

## 令和元年度事業報告書

はじめに

令和元年5月30日に第9回(通算第44回)定時総会を開催し、コンプライアンス(法令順守)、ガバナンス(組織統治)、透明性、公開性を運営の基本に据えた2019年度事業計画が承認されました。令和元年度においても、前年度に引き続きこの3つの基本方針を基底において事業に取り組みました。

シルバー人材センターを取り巻く環境も、消費低迷、低成長下の経済情勢に加え、民間事業者、NPO、地域福祉団体等のシルバー類似事業への参入などもあり、厳しい経営環境になってきています。

そのような状況の中ではありますが、派遣事業が前年度に引き続き順調に伸び、対前年度比で26,444千円増加し、契約金額ベースで1億2千万円を超える実績となりました。平成27年度の後半から県連合会の指導の下、偽装請負の是正に積極的に取り組み、その後も事業所からの業務の依頼については派遣事業を基本に取り組み、継続的な業務だけでなく、単発的な業務も積極的に受注するなど事務所内で意思統一を図り、それに加え事業所の人手不足の状況を背景として大きく伸びたと考えられます。一方、請負・委任事業収入については、前年度に対前々年度との比較で32,043千円大きく減少しましたが、令和元年度はやや回復し、対前年度3,810千円増加する結果となりました。しかしながら、平成30年度から見積方式を変更した請負業務の柱である除草業務は、変更前の平成29年度と比較すると受注件数で1,035件、契約金額で14,109千円少ない状況となっています。

また、収支状況において、単年度収支は平成27年度以降4年間赤字決算が続き、特に平成29年度、30年度は1千万円を超える大きな赤字を計上していましたが、令和元年度は、事業収入の伸び、移転補償費収入及び人件費をはじめ事業費等の縮減により、16,005千円増となりました。この結果、正味財産(繰越金)は35,630千円となり、運転資金にも事欠く状況であった平成30年度の財政状況から大きく改善し、平成29年度決算における正味財産残高32,180千円を超えるレベルまで回復したところです。ただし、この繰越金については、公益法人の収支相償の原則に基づき、島根県と協議し、特定資産として積立てることになります。なお、正味財産残高は増加したわけですが、令和元年度の予算執行状況を見たとき、繁忙期である6月から12月までの7か月は月平均で35,000千円程度の配分金他の支出があることから、引き続き経費の縮減に努めていく必要があります。

そして、シルバー人材センターを支える会員については、令和元年度において、901人から950人へと49人、率にして5.4%増加する結果となりました。これは、入会説明会の積極的な開催、県連合会と連携及び独自で開催した技能講習会、新聞折込チラシ等によるPR、及び役員、会員による声かけ等によるものと考えます。特に女性会員が31人増加したのが特筆すべきものです。今後、保育園等での就業など子育て支援分野での女性の活躍が期待されるところです。

最後に前年度から開始した独自事業のB級野菜市も徐々に定着してきており、今後も

シルバー人材センターの普及啓発にも繋がるよう刃物砥ぎとともに取り組んでいきたいと考えます。

表1 令和元年度の主な業績

(単位:千円)

項目	R元年度 実績 a	H30年度 実績 b	H29年度 実績	H28年度 実績	比較 a-b
受注金額(千円)	435,836	405,582	423,194	426,417	+30,254
内 請負・委任(千円)	314,451	310,641	342,684	373,762	+3,810
内 派遣(千円)	121,385	94,941	80,510	52,656	+26,444
年度末会員数(名)	950	901	901	887	+49
事故件数(件)	21	29	22	28	-8
単年度収支(千円)(注1)	16,005	-12,555	-15,656	-8,991	28,560
正味財産期末残高(千円)	35,630	19,625	32,180	47,837	16,005

(注1)単年度収支は、ここでは、経常収益から経常費用を控除した額(当期一般正味財産増減額)をいいます。

表2 センターの決算状況(単位:千円)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
事業収入	430,355	424,159	412,428	377,711	350,086	319,058	325,406
補助金収入	40,948	37,448	33,907	28,681	25,100	26,672	26,472
その他収入	4,495	5,132	4,361	3,462	2,899	2,793	10,298
収入計	475,798	466,739	450,696	409,854	378,085	348,523	362,176
事業費支出	426,118	422,018	417,906	371,711	342,327	307,966	304,897
管理費支出	39,252	37,739	35,251	47,135	51,414	53,115	41,274
支出計	465,370	459,757	453,157	418,846	393,741	361,078	346,171
単年度収支	10,428	6,982	-2,462	-8,991	-15,656	-12,555	16,005
正味財産残高	52,309	59,290	56,828	47,837	32,180	19,625	35,630

上表のように令和元年度において財政状況が改善したのは、収入では事務費率を10%から15%に上げたことによる事務費収入の増、大社連絡所移転補償関係、派遣事業等受託収益の増などによる経常収益の増、また支出では人件費(職員給与等)や物件費(消耗品費他)等管理経費の縮減による経常費用の減が主な要因となっています。

以下に、事項別に実施状況を報告します。

### 1 請負・委任業務及び派遣業務の受注実績

センターの受注形態は、請負、委任、派遣の3つがあります。

令和元年度実績は、請負・委任受注額は、前年度よりやや増加(対前年比+1.2%)し、派遣受注額については、引き続き大幅に伸びる(対前年比27.9%)結果となりました。このように、今年度は請負・委任業務及び派遣業務共に増加し、令和元年度受注額全体

では、435,836千円で、これは、平成30年度の405,582千円と比較すると受注額で+30,254千円、率で+7.5%となりました。

表3 請負・委任(受託)業務と派遣業務を合算した月別の受注金額(単位：千円)

月	R元年度	R元年度		H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
		内受託	内派遣				
4月	29,675	19,548	10,127	27,197	29,540	27,016	27,637
5月	40,044	30,464	9,580	36,894	43,335	37,345	38,604
6月	41,927	33,028	8,900	38,580	43,570	45,209	44,801
7月	51,554	41,375	10,179	43,460	44,344	49,474	48,145
8月	35,197	25,102	10,095	35,259	39,885	39,943	37,976
9月	42,998	33,806	9,192	36,572	42,593	38,895	41,547
10月	45,762	34,744	11,017	43,016	44,420	45,983	46,456
11月	43,615	32,938	10,678	42,098	41,546	41,042	37,484
12月	33,952	20,949	13,003	31,046	29,958	32,341	28,983
1月	21,957	12,207	9,750	21,101	18,772	19,918	17,315
2月	19,644	10,651	8,993	21,229	17,450	20,123	19,864
3月	29,511	19,641	9,870	29,130	27,779	29,129	29,037
合計	435,836	314,451	121,385	405,582	423,194	426,417	417,850

(1) 請負・委任(受託)業務の受注実績

令和元年度の請負・委任業務の契約金額は314,451千円で、対前年度比は、金額で+3,810千円、率で+1.2%でした。対前年度比の発注元別金額の内訳は、公共が+1,373千円で2.6%増、民間事業所が-4,306千円で3.6%減、一般家庭が+6,743千円で4.9%増となっています。

適正受注・適正就業の厳格運用の基本方針により、随時、請負・委任から派遣へ切り替えてまいりました。平成29年度まででほぼ完了し、平成30年度には1件の切り替え、令和元年度の切り替えはありませんでした。

また、民間事業者、NPO、地域福祉団体等が実施する生活支援サービス業務と競合するところもあり、多少影響があったと考えられます。

なお、繁忙期においては、契約不成立となった受注も少なからずあったことから、会員の確保、配置、実施時期などの課題を引き続き検証し、より多くの受注を確保できるように工夫していく必要があります。

表4 請負・委任(受託)業務の月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	R元年度	R元年度件数	H30年度	H29年度	H28年度
4月	19,548	630	20,285	23,624	24,229
5月	30,464	944	29,530	36,744	34,026

6月	33,028	1,074	31,747	37,558	41,830
7月	41,375	1,230	36,422	38,250	46,256
8月	25,102	904	28,447	33,982	36,575
9月	33,806	1,001	29,294	36,037	35,319
10月	34,744	1,012	35,273	36,599	41,807
11月	32,938	976	33,217	33,804	35,893
12月	20,949	784	20,078	20,646	24,572
1月	12,207	300	13,169	12,489	14,303
2月	10,651	391	13,493	11,684	15,376
3月	19,641	500	19,686	21,267	23,576
計	314,451	9,746	310,641	342,684	373,762

表5 請負・委任(受託)業務発注元別の受注金額(単位：千円) と割合

発注元	公共		民間事業所		一般家庭		計	
	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%
R元年度	53,209	16.9	115,504	36.7	145,738	46.4	314,451	100
H30年度	51,836	16.7	119,810	38.6	138,995	44.7	310,641	100
H29年度	50,148	14.6	133,851	39.1	158,685	46.3	342,684	100
H28年度	48,433	12.9	163,601	43.8	161,728	43.3	373,762	100
H27年度	50,901	12.3	200,707	48.7	160,665	39.0	412,273	100
H26年度	54,888	13.0	205,852	48.5	163,355	38.5	424,095	100
H25年度	57,979	13.5	209,580	48.7	162,749	37.8	430,308	100
H24年度	73,703	16.9	198,071	45.4	164,351	37.7	436,125	100
H23年度	107,209	21.2	221,712	43.7	177,759	35.1	506,680	100
H22年度	107,247	20.0	253,374	47.3	174,933	32.9	535,554	100

表6 請負・委任(受託)業務の作業種ごとの受注額(単位：千円) と件数

作業種	除草	剪定	屋外清掃	障子襖	屋内清掃	検針	農林作業
受注額(千円)	86,167	77,436	36,477	28,664	21,980	12,792	9,172
件数	2,582	2,593	964	1,305	713	82	289
平均単価(円)	33,372	29,863	37,839	21,965	30,827	156,000	31,737

作業種	建物管理	家事援助	屋外雑役	大工仕事	屋外施設管理	物品管理	配達
受注額(千円)	7,152	6,345	3,817	2,963	2,798	2,116	1,870
件数	66	242	156	102	36	13	23
平均単価(円)	108,364	26,219	24,468	29,049	77,722	162,769	81,304

作業種	建物一部管理	畳工事	調査事務	その他管理・監視	屋内雑役	その他外務	その他
受注額(千円)	1,374	1,254	1,227	1,217	1,216	1,210	7,235
件数	37	23	7	12	63	12	452
平均単価(円)	37,135	54,522	44,367	175,286	19,302	100,833	16,007

受注総額：314,483 千円、受注総件数：9,749 件、平均請負単価 32,258 円

## (2) 派遣業務の受注実績

令和元年度の派遣業務の受注額は 121,385 千円で、対前年度比は、金額で+26,444 千円、率で+27.9%でした。事業所等における人手不足を背景に、昨年度以上に受注金額が大きく増加したものです。

事務局においても派遣の受け入れ体制を整備し、新規の受注も数多く確保することができました。また、高齢者活躍人材育成事業の技能講習会受講者を対象に新規会員の入会を積極的に募ったことが、会員増につながり、ひいては派遣事業の実績の伸びにつながったといえます。

令和 2 年 2 月の島根県内の有効求人倍率は 1.69 倍で、全国平均の 1.45 倍を 0.24 ポイント上回っています。こうした状況を追い風に、人手不足の効果的な対策として、派遣事業は、今後もさらなる受注増が見込まれています。

表 7 令和元年度 派遣事業月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	R1 年度	R1 年度件数	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
4 月	10,127	104	6,912	5,916	2,787	64
5 月	9,580	108	7,364	6,590	3,320	0
6 月	8,900	106	6,833	6,012	3,379	0
7 月	10,179	111	7,038	6,094	3,218	0
8 月	10,095	110	6,812	5,903	3,368	39
9 月	9,192	114	7,278	6,556	3,576	55
10 月	11,017	116	7,743	7,822	4,176	0
11 月	10,678	121	8,881	7,742	5,149	194
12 月	13,003	126	10,968	9,312	7,769	779
1 月	9,750	113	7,932	6,284	5,615	851
2 月	8,993	117	7,736	5,766	4,747	1,657
3 月	9,869	114	9,444	6,512	5,553	1,938
計	121,385	1,360	94,941	80,510	52,656	5,577

表 8 派遣契約件数の状況

年度	契約件数(件)	派遣期間別契約件数			
		1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上
R1年度	319	102	60	45	112
H30年度	269	113	43	19	94
H29年度	224	95	32	20	77
H28年度	110	24	26	21	39
H27年度	42	19	15	8	0

## 2 会員の状況

令和元年度末(R2. 3. 31)の会員数は、950名(男630名、女320名)で、平成30年度末(H31. 3. 31)の901名(男612名、女289名)と比較し、49名(男18名、女31名)の増となりました。内訳は、新入会員154名(男82名、女72名)、退会会員105名(男64名、女41名)となっています。

表9 地域別会員登録状況(単位：人、3. 31現在)

地域	年度	男性	女性	合計	地域	年度	男性	女性	合計
出雲	R1年度	276	174	450	平田	R1年度	123	36	159
	H30年度	263	144	407		H30年度	120	37	157
	H29年度	265	133	398		H29年度	124	41	165
	H28年度	258	126	384		H28年度	122	41	163
大社	R1年度	67	34	101	斐川	R1年度	133	63	196
	H30年度	66	29	95		H30年度	132	66	198
	H29年度	66	34	100		H29年度	136	63	199
	H28年度	65	35	100		H28年度	137	64	201
河南	R1年度	31	13	44	合計	R1年度	630	320	950
	H30年度	31	13	44		H30年度	612	289	901
	H29年度	28	11	39		H29年度	619	282	901
	H28年度	28	11	39		H28年度	610	277	887

表10 年齢別・男女別会員登録状況(単位：人、3. 31現在)

年齢	60-64		65-69		70-74		75-79		80-84		85-		合計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
R1	人数	43	34	156	80	240	122	145	65	40	18	6	1	630	320	950
	割合	4.5	3.6	16.4	8.4	25.4	12.8	15.3	6.8	4.2	1.9	0.6	0.1	66.3	33.7	100.0

年齢		60-64		65-69		70-74		75-79		80-84		85-		合計		
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H30	人数	46	28	166	79	224	111	130	57	41	14	5	0	612	289	901
	割合	5.1	3.1	18.4	8.8	24.9	12.3	14.4	6.3	4.6	1.6	0.6	0.0	67.9	32.1	100.0
H29	人数	54	23	192	84	210	103	130	55	30	16	3	1	619	282	901
	割合	6.0	2.6	21.3	9.3	23.3	11.4	14.4	6.1	3.3	1.8	0.3	0.1	68.7	31.3	100.0
H28	人数	52	28	199	98	207	86	115	54	34	10	3	1	610	277	887
	割合	5.9	3.2	22.4	11.0	23.3	9.7	13.0	6.1	3.8	1.1	0.3	0.1	68.8	31.2	100.0

表 11 職群別会員登録状況(単位：人、3.31 現在)

区分	年度	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	計
男	R1	65	220	69	164	112	483	31	0	1,144
	H30	75	217	70	149	101	464	32	0	1,108
	H29	77	215	63	146	100	468	24	0	1,093
	H28	86	218	53	135	85	456	20	0	1,053
女	R1	6	16	48	6	33	273	161	2	545
	H30	3	16	40	7	26	246	138	3	479
	H29	3	19	36	7	24	237	129	3	458
	H28	3	20	38	7	21	227	117	4	437
計	R1	71	236	117	170	145	756	192	2	1,689
	H30	78	233	110	156	127	710	170	3	1,587
	H29	80	234	99	153	124	705	153	3	1,551
	H28	89	238	91	142	106	683	137	4	1,490
割合 (%)	R1	4.2	14	6.9	10.0	8.6	44.8	11.4	0.1	100.0
	H30	4.9	14.7	6.9	9.8	8.0	44.8	10.7	0.2	100.0
	H29	5.2	15.1	6.4	9.9	8.0	45.5	9.9	0.2	100.0
	H28	6.0	16.0	6.1	9.5	7.1	45.8	9.2	0.3	100.0

表 12 会員数等の推移(単位：人、3.31 現在)

年度	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
男	630	612	619	610	588	585	616
女	320	289	282	277	267	270	298
男女計	950	901	901	887	855	855	914

年度	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
対前年度比	105.4	100.0	101.6	103.7	100.0	93.5	90.0
対前年度増減	49	0	14	32	0	-59	-101
平均年齢(男)	72.3	72.1	71.6	71.5	71.2	71.3	71.1
平均年齢(女)	71.6	71.4	71.7	71.2	71.2	70.8	70.8
平均年齢(男女)	72.1	71.9	71.6	71.4	71.2	71.1	71.0

年度	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18
男	697	840	882	905	873	838	922
女	318	377	408	446	466	437	495
男女計	1015	1217	1290	1351	1339	1275	1417
対前年度比	83.4	94.3	95.5	100.9	105.0	90.0	101.8
対前年度増減	-202	-73	-61	12	64	-142	25
平均年齢(男)	70.7	70.1	69.9	69.8	69.9	69.6	69.4
平均年齢(女)	70.5	69.8	69.6	69.3	68.9	68.6	68.4
平均年齢(男女)	70.0	69.8	69.6	69.5	69.3	69.1	68.6

### 3 就業開拓の取組

#### (1) 地域を越えた就業の促進

受注の現状を考慮すると、「請負・委任事業」だけでの増額は難しいことから、「派遣事業を含めた全事業」での増額を目指していくこととしました。地域を越えた就業については、会員に、より多くの就業機会を提供できるように事務局内で会員情報を共有してマッチングの効率を高めることとし、また、繁忙期の応援体制については、移動距離等に配慮し、会員負担の少ない隣接地域での対応を行ってまいりました。

#### (2) 女性部会の活動

平成30年3月2日に設立した女性部会は、センター女性会員相互の就業に係る経験・知識の研鑽や情報交換を行い、就業の促進及び会員の増加を図るために、令和元年度は以下の事業を行いました。

- ① 講習会：女性会員を対象とした講習会を3回開催し、71名の参加がありました。
- ② 定例会：女性部会委員による定例会を開催し、講習会の内容検討、女性部会だよりの作成、ミニ企画の実施などを行いました。

表13 令和元年度 女性部会委員名簿

地区	氏名	備考	地区	氏名	備考
出雲	高見 修子		出雲	片岡 美紀恵	

地区	氏名	備考	地区	氏名	備考
出雲	加藤 和代		出雲	今岡 恵美子	
出雲	永瀬 弥生		斐川	岡田千恵子	
出雲	富田 美代子		斐川	川島 涼子	
出雲	青木 つや子		多伎	土井地 理恵	
出雲	伊藤 喜久子				

任期：原則として2年間

表 14 講習会開催状況

期日	会の内容	参加者数	場所
6/18	① 出雲警察署の生活安全課の松原警部補を講師に「身近な危険防止」を受講 ② 出雲笑いヨガ主催の古川講師に、「笑いヨガ」を受講	32名	サン・アビリティーズいずも研修室
12/3	① 豊田会員の「Tさんのちょっとホッとするのはなし」 ② 大国ハートプランニング代表の大国さんを講師に、「ワンランク上を目指す援助サービス」を受講	20名	サン・アビリティーズいずも研修室
2/25	① シナプソロジーインストラクター石川さんを講師に「笑顔が生まれるシナプソロジー教室」を受講	19名	サン・アビリティーズいずも研修室

表 15 女性部会委員による定例会開催状況

開催日	内容	出席者数	場所
第 1 回(4/16)	① 第 1 回講習会の内容検討	11 名	センター
第 2 回(5/21)	① 第 1 回講習会の準備 ② ミニ講座内容検討	11 名	センター
第 3 回(6/11)	① 第 1 回講習会動員について ② ミニ講座準備 (アロマでリフレッシュ)	10 名	センター
第 4 回(7/9)	① 女性部会だよりの作成 ② 第 2 回講習会内容検討	10 名	センター
第 5 回(8/27)	① 女性部会だより作成 ② 第 2 回講習会準備 ③ ミニ講座準備	10 名	センター
第 6 回(9/17)	① 第 2 回講習会案内チラシ作成 ② ミニ講座準備 (寄せ植え)	9 名	センター
第 7 回(10/29)	② 第 2 回講習会動員について ③ ミニ講座(新年お楽しみ会)	8 名	センター
第 8 回(11/12)	① 第 2 回講習会の検討 ② 女性部会だよりの作成準備	8 名	センター
第 9 回(12/17)	① 第 3 回講習会準備 ② ミニ講座 (お楽しみ会) 準備 ③ 女性部会だよりの作成	9 名	センター
第 10 回(1/21)	① ミニ講座動員について ② 第 3 回講習会準備	9 名	センター
第 11 回(2/18)	① 令和元年度事業の反省 ② 令和 2 年度女性部会委員検討	8 名	センター

### (3) 出雲市生活支援体制整備推進協議体への参画

出雲市が平成 28 年度に設置した『出雲市生活支援体制整備推進協議体』の会議が令和元年度は 2 月に開催され、委員である事務局長が参加し、意見交換、情報収集等を行いました。また、出雲市と出雲市社会福祉協議会の主催で開催された「地域支え合いフォーラム」に当該協議体の委員として参加しました。この協議体は、地域で高齢者を支える多様な主体・機関のネットワークを構築することにより、地域の課題やニーズを共有し、地域づくりの目的や方針を策定することを目的としています。

### (4) 独自事業の実施

平成 30 年度から新たに開始した「B 級野菜市」、従来から実施している「刃物砥ぎ」と「空き家点検サービス」をセンターの独自事業として行っています。「B 級野菜市」、「刃物砥ぎ」は一定の実績がありました、「空き家点検サービス」は実績がありませんでした。

① B級野菜市

「B級野菜市」は、毎週水曜日の午前中、センター事務所駐車場を会場に開催しました。この野菜市での販売は、野菜、手工芸品及び未使用のギフト品等で、運営は出品者、役員、事務局職員が協力して行いました。

表 16 B級野菜市開催状況

開催回数	延べ出品者	出品数	販売数	売上金	配分金	事務費
49回	144名	3,729	2,504	288,270円	250,491円	37,779円

② 刃物砥ぎ

B級野菜市と同じく毎週水曜日の午前中にセンター前で包丁、刈込はさみ等を取り扱っており、3名の会員がローテーションで実施しました。売上実績は、108,339円でした。

③ 空き家点検サービス

空き家点検サービスは、出雲市内でも増加傾向にある空き家の管理について事業化することができないかを検討した結果、発注者から依頼のあった空き家を訪問し、目視による点検を行い、報告書と請求書を郵送する方法で実施するものです。市役所の「空き家」担当課と連携し、市役所に問い合わせがあればこの事業を紹介してもらうほか、センターのホームページへも掲載し周知を行いましたが、利用はありませんでした。今後も引き続き宣伝に努めてまいります。但し、空き家にかかる除草、剪定等の業務は、別途請け負っております。

(5) 生涯現役促進地域連携事業

生涯現役促進地域連携事業について、実施主体となる「出雲市生涯現役促進協議会」の構成団体として参画しています。協議会の取り組みとして、高年齢者を対象とした就労等に関するニーズ調査、企業等のニーズ調査、企業等への訪問、企業を対象とした高年齢者人材活用セミナー、高年齢者就労・就業促進セミナー、相談会、支援員による個別相談、広報等を実施しました。

特に、企業へのニーズ調査や支援員の企業訪問により情報等収集を行い、派遣事業の開拓等につながるよう取り組みました。

## 4 会員拡大の取り組み

(1) 入会説明会の開催

毎週水曜日に入会説明会をセンターで開催しました。293名の説明会参加者に対し、約50%の148名の入会がありました。

表 17 入会説明会参加者及び入会者 (H31.4～R2.3)

表 17-1 説明会参加者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	154	11	13	25	9	4	7	19	12	2	13	29	10
平田	40	3	2	10	3	4	1	6	2	1	3	3	2

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
河南	23	3	0	1	1	2	3	1	1	1	0	10	0
大社	37	1	2	4	1	2	2	3	2	1	1	16	2
斐川	39	3	4	1	2	1	2	3	2	2	2	13	4
合計	293	21	21	41	16	12	14	34	19	7	19	71	18

表 17-2 説明会参加者で入会者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	82	17	5	8	8	0	2	17	9	6	6	3	1
平田	23	7	3	3	2	2	0	3	0	2	0	1	0
河南	7	3	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
大社	20	2	0	2	1	2	1	6	0	1	0	5	0
斐川	16	3	1	3	2	0	0	3	2	1	0	1	0
合計	148	32	9	16	13	4	3	30	12	11	7	10	1

## (2) 賛助会員

令和元年度の賛助会員は、66の事業所及び個人(会費：1口3千円)でした。就業機会及び会員確保の貴重な窓口になることから、今後とも可能な限り連携を図ってまいります。

表 18 賛助会員一覧(五十音順)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社島根支店出雲支社, アルファー食品株式会社, 出雲大社, 出雲ガス株式会社, 出雲商工会議所, 板倉酒造有限会社, 医療法人永樹会吉岡医院, 医療法人沖繩徳洲会出雲徳洲会病院, 医療法人吉翔会吉直整形外科クリニック, 医療法人壽生会, イワタニ山陰株式会社出雲支店, 介護老人保健施設ケアセンターかんど, 株式会社あい保険パートナーズ, 株式会社アリオン, 株式会社出雲総合卸売市場, 株式会社出雲村田製作所, 株式会社ウシオ, 株式会社栄徳, 株式会社香り芽本舗, 株式会社コスモス, 株式会社小林冷蔵, 株式会社山陰一畑クッキング, 株式会社多伎振興, 株式会社田中種苗, 株式会社電協コーポレーション, 株式会社L P Cホテル&リゾートニューウェルシティ出雲, 株式会社F I C小竹原出雲営業所, 株式会社ホンダカーズ出雲, 株式会社松文オフテック出雲営業所, 株式会社ミック出雲支店, 株式会社やまもと, 株式会社吉川製作所, 久文建設株式会社, 漁業協同組合J Fしまね大社支所多伎出張所, 三愛石油有限会社, 山陰セキスイ商事株式会社, 三洋自動車有限会社, 島根印刷株式会社, 島根県農業協同組合出雲地区本部, 島根県農業協同組合ラピタ本店, 島根島津株式会社, 島根中央信用金庫, 島根電工株式会社出雲支店, 社会福祉法人出雲南福社会ケアハウス寿生の郷, 社会福祉法人きづき会特別養護老人ホームいなさ園, 社会福祉法人ひまわり福社会, 社会福祉法人やすらぎ福社会, 宗教法人出雲教, 須田金物, 清和鉄工株式会社, ダイイチ株式会社, 中国労働金庫出雲支店, 特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21, 特別養護老人ホームるんびにい苑, ヒラタ精機株式会社, 富士酒造合資会社, 山下壮一, 有限会社アスプラン,

有限会社出雲フォークリフト，有限会社オフィスヒストリィ，有限会社カーショップダンドン，有限会社門脇商店，有限会社協同サービス，有限会社江陽印刷，有限会社スズキ販売出雲，有限会社スタニ刃物，有限会社斐川農協自動車整備工場，有限会社マルフ興産，料理仕出しつねまつ

合計 66(企業・団体 65 事業所、個人 1 人)

(3) 新規入会者の就業相談

地域ごとに新規入会者の面接を実施し、就業条件、適性、個々の様子などを聞き、具体的な就業先を紹介しました。

(4) 未就業会員の就業相談

未就業会員を対象とした就業相談は、面談及び電話によって随時実施しています。今後も定期的に電話連絡を行い、現状把握をするとともに就業の斡旋を行い、就業率の向上に努めてまいります。

表 19 地域別未就業会員数(3.31 現在、単位：人)

年度	区分	出雲	大社	平田	斐川	河南	合計
R1 年度	未就業会員数	75	17	21	25	11	149
	会員数	450	101	159	196	44	950
H30 年度	未就業会員数	68	10	18	22	8	118
	会員数	407	95	157	198	44	901
H29 年度	未就業会員数	71	12	18	17	6	124
	会員数	398	100	165	199	39	901
H28 年度	未就業会員数	61	9	10	22	12	114
	会員数	384	100	163	201	39	887

表 20 未就業会員の年齢構成(3.31 現在、単位：人・%)

年度	年齢	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80 歳以上	合計
R1 年度	人数	19	50	49	25	6	149
	割合%	12.8	33.5	32.9	16.8	4.0	100
H30 年度	人数	16	44	30	24	4	118
	割合%	13.6	37.3	25.4	20.3	3.4	100
H29 年度	人数	20	43	35	22	4	124
	割合%	16.1	34.7	28.2	17.8	3.2	100
H28 年度	人数	14	41	31	21	7	114
	割合%	12.3	36.0	27.2	18.4	6.1	100

表 21 未就業の主な理由(単位：人)

年度	就職中	病気	互助会活動	就業可能	その他	合計
R1 年度	60	26	3	23	37	149
H30 年度	53	16	3	34	12	118
H29 年度	51	22	10	26	15	124
H28 年度	46	20	7	31	10	114

(5) 技能講習会受講者への入会促進

派遣労働の就業及び会員拡大を目的に県連合会と連携して実施した技能講習会(保育・調理スタッフ、店舗スタッフ、清掃スタッフ、介護補助・清掃スタッフ育成講習)受講者、またセンター独自で実施した清掃スタッフ及び子育て支援スタッフ育成講習受講者を対象に、面談及びアフターフォローを行い、入会を勧め、加入につなげました。

5 安全就業の取組

(1) 安全巡回パトロールの実施

安全巡回パトロールを10月から11月にかけて計6回実施し、22か所の就業現場で安全保護具装着の指導や就業現場の危険個所の点検などを行いました。

(2) 労働安全研修会の開催

派遣又は請負業務で運転する機会のある会員及び役職員を対象に、交通安全意識の高揚と交通事故防止についての交通安全研修会を3月に実施する予定にしていたが、新型コロナウイルス感染の影響で中止しました。

(3) 安全就業推進大会の開催

令和元年度の安全推進大会は、パルメイト出雲で開催し、労働安全コンサルタントの米田育郎氏による講演と剪定及び除草作業に携わる会員の意見・体験発表を行い、会員の就業に係る事故防止並びに安全意識の高揚を図りました。

開催日：令和2年2月28日(金) 13：30～15：15

場 所：パルメイト出雲4階 パルメイトホール 参加者数：62名

表 22 安全就業推進大会開催状況

大会名	開催日	出席者数	場 所	内 容
第 25 回	R2. 2. 28	62 名	パルメイト出雲	講演「作業の安全について」 講師：米田育郎(労働安全コンサルタント)
第 24 回	H31. 2. 28	88 名	出雲市民会館	講演「老いても元気に社会参加」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)

大会名	開催日	出席者数	場 所	内 容
第 23 回	H29. 11. 30	60 名	斐川文化会館	講演「作業の安全について」 講師：米田育郎(労働安全コンサルタント)
第 22 回	H29. 9. 26	45 名	パルメイト出雲	講演「老いても元気に社会参加」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第 21 回	H28. 11. 28	83 名	平田文化館	講演「老いても元気に社会参加」講師： 塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第 20 回	H28. 8. 26	72 名	パルメイト出雲	講演「交通安全について」 会員による意見・体験発表
第 19 回	H27. 11. 27	89 名	斐川文化会館	講演「交通安全について」 会員による意見・体験発表
第 18 回	H27. 8. 28	89 名	パルメイト出雲	寸劇「安全就業について」 ヒヤリ・ハット体験の収集
第 17 回	H26. 11. 27	68 名	パルメイト出雲	寸劇「交通安全指導」
第 16 回	H25. 12. 13	78 名	出雲体育館	救急講習「応急手当について」 出雲市消防署
第 15 回	H24. 10. 5	116 名	出雲体育館	意見・体験発表

#### (4) 安全ニュースの提供

安全ニュースについては、事務局便りの紙面を活用し、安全就業基準の順守、安全パトロールでの指摘事項や全シ協の安全就業ニュースの中から事故事例の紹介などについて掲載し、注意喚起を行いました。

#### (5) 70 歳到達運転会員及び 80 歳到達会員の面接

運転業務に就業中の満 70 歳に達した会員(対象者 79 名)及び満 80 歳に達した会員(対象者 65 名)で引続き就業を希望する会員について、健康面・安全面について面接審査しました。結果は、いずれの会員も良好でした。

#### (6) ヒヤリ・ハット体験の情報収集と活用

ヒヤリ・ハット体験について、会員から募集しましたが、応募がありませんでした。

#### (7) シルバー保険

就業中の傷害事故や賠償事故の補償のためにシルバー団体傷害保険及び賠償責任保険に加入しました。令和元年度には、16 件の保険請求を行い、18 件(前年度 2 件を含む)の給付を受けました。

#### (8) 事故発生状況

令和元年度の事故の発生件数は 21 件で、前年度に比べ 8 件減少しました。内訳は、請負・委任業務の就業中の傷害事故が 8 件、就業途上の事故が 1 件、賠償事故が 9 件でした。また、派遣業務の就業中の労災事故が 2 件、物損事故が 1 件でした。

表 23 事故件数の推移

年度	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
傷害事故	10	12	2	12	6	7	4	1
就業途上事故	1	3	2	0	4	0	1	0
賠償事故	10	14	18	16	12	23	11	11
合計	21	29	22	28	22	30	16	12

表 24 令和元年度 傷害事故(発生件数：10 件)

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	程度
1	4/19(土)出雲, 女, 70 歳 施設清掃	開店前の清掃をしようと道具が吊ってあるラックから道具を取ったところ、ラックの上の棚に置いてある台車(鉄製 A4 サイズ)が落下して額に当たった。	通院
2	6/3(月)大社, 男, 61 歳, 草取作業	草取作業中、草の中に足長蜂の巣があり、右手甲を刺された。	通院
3	6/10(月)斐川, 男, 78 歳 襖の張替	襖の張替作業で、襖を車から降ろし、作業所に運び入れようとした際に、体の向きを変えて左足を踏みだそうとしたが、足が浮かず(踏み出せず)先に膝だけを外側に回転させたため、捻った。	入院
4	6/27(木)大社, 男, 70 歳 回収作業	剪定屑の回収の際に、虫に刺され、手足に発疹が出たため病院で治療した。	通院
5	7/2(火)大社, 男, 70 歳, 回収	剪定屑の回収の際に、トゲが刺さったが作業中で処置できず、奥に入り込んでしまった。	通院
6	7/25(木)出雲, 男, 69 歳 剪定作業	樹木の剪定作業中に、三脚から降りる際にバランスを崩しながら着地したため、左手を痛めた。	通院
7	7/29(月)出雲, 男, 68 歳 剪定作業	トリマーを使用して生垣の剪定をしている際に、スズメバチに左手の甲を一カ所刺された。	通院
8	9/24(火)大社, 男, 65 歳 回収作業	除草の回収作業で、軽ダンプの荷台から地上に降りた時に、バランスを崩し、手をついたため右手首にヒビが入った。	通院
9	7/4(木)出雲, 女, 65 歳 シーツ交換等, 派遣, 労災	シーツ交換を終えてベッド脇から移動しようとした時に、ベッドに巻き付いてある呼び出しボタンの垂れたコードに足を引っ掛けて転び、左膝を強打した。	通院
10	8/27(火)出雲, 女, 71 歳 , 接客・レジ業務, 派遣, 労災	レストランで注文を取って戻る際に、急いでいたため自分の靴を踏み、転倒した。	入院

表 25 令和元年度 賠償事故(発生件数：10 件)

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険	賠償金額(円)
1	6/16(日)大社 男, 70 歳 草刈作業	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、保育園の窓ガラスを破損させた。飛び石防護ネットを設置していた。	賠償保険	30,000
2	6/30(木)斐川 男, 76 歳 剪定作業	樹木の枝を切り落とした際に、想定していた落下場所から外れ、塀に接触して破損させた。	賠償保険	67,824

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険	賠償金額 (円)
3	6/25(火) 出雲 男, 70歳 回収作業	剪定屑の回収の際に、家の壁に立てかけてあった、発注者のコンパネが風に煽られシルバーのトラックに倒れてきて、運転席側のサイドミラーが割れた。	車両保険	5,886
4	7/29(月) 出雲 男, 71歳 草刈作業	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、駐車場の車両のリアガラスを破損させた。 飛び石防護ネットが未設置であった。	賠償保険	111,953
5	8/12(月) 湖陵 男, 69歳 草刈作業	草刈作業中に、刈払機で小石を跳ねて、車庫に駐車中の車両のボディに傷をつけた。 飛び石防護ネットを設置していた。	賠償保険	97,762
6	9/14(土) 出雲 男, 73歳, 剪定作業	樹木の剪定作業中、誤って樹木の枝に掛かっていた電話線を電動バリカンの刃を接触させて切断してしまった。	賠償保険	22,295
7	9/17(火) 大社 男, 74歳 樹木の伐採	発注者から果樹や椿が数本植えてある場所で、椿を1本残して、他の椿を全て元から伐採してほしいと指示されたが、椿以外の果樹(13本)も全て元から伐採してしまった。	賠償保険	194,478
8	10/21(月) 平田 男, 69歳 草刈作業	国道431号に隣接する砂利の多い畑地において、刈払機を使用して草刈作業をしていたところ、走行する自動車の後部ガラスに石が当たり、破損した。	賠償保険	132,561
9	10/30(水) 出雲 男, 69歳, 剪定作業	剪定作業中に、樹木の幹を高さ4m位の高さで切り落とした際に、下にあった石のベンチの上に落下し破損させた。	賠償保険	60,500
10	4/22(月) 大社 男, 72歳, 送迎車 運転業務, 派遣	幼稚園の敷地に送迎の為に前進で進入し、方向転換をしようとして、フェンスに接触して破損させた。	派遣先 車両保険	0
11	4/7(日) 大社 男, 75歳, 溝掃除 の代役, 途上事故	自家用車で就業先に向かう際に、脇道から事故の相手車両が一時停車せず出てきたため接触した。	車両保険 (個人)	0
合計				723,259

## 6 適正就業の取組

### (1) 就業の偏りの是正

一部の会員において就業機会の多い会員と少ない会員との差が大きく、就業機会の偏りへの不満から退会となるケースも見受けられます。

こうした就業機会の偏りを是正するために、作業種単位を軸とした就業体制づくりを目指していくこととします。除草及び剪定作業を希望される会員が多いため、まずはこの2つの作業について「作業班」の結成を進めます。

### (2) 適正就業審査

同一会員が5年以上継続して就業している施設管理業務、検針業務等の7件に関し、11名の長期就業者の交代について逐次募集を行い、この内4名が交代しました。引き続き長期就業者の交代について募集を行っていきます。

## 7 普及啓発の取組

### (1) チラシの配布

会員募集チラシを作成し、9月、3月の2回、それぞれ町内回覧を行いました。

(2) 会員向け情報提供

会員向け情報提供は、「事務局だより」(毎月発行)と「理事会便り」(理事会開催月の翌月発行)の二つの方法で行いました。

(3) ハローワーク出雲の相談窓口で60歳以上の求職者に会員募集チラシ、また求人事業所にはシルバー派遣事業のチラシを配付してもらい、併せて雇用保険の説明会に参加し、シルバー人材センターの説明と技能講習会の連絡票の記載をしてもらうなど入会促進を図りました。

(4) ホームページの活用

ホームページは、会員及び発注者に対する情報共有・提供手段としてきわめて有効です。理事会だよりを更新するとともに、今年度新たに公開した事務局便りは、毎月更新しました。また、会員への情報発信の一つとして、就業募集一覧も公開し、毎月更新しています。また、有資格者の人数を新たに掲載しました。今後も掲載情報をより豊富にするとともに情報の最新化に努めてまいります。

## 9 地区班

(1) 地区班会議の開催状況

地区班会議を地域毎に開催し、センターからの報告と会員からの質問及び意見交換等を実施しました。

表 26 令和元年度 地区班会議の開催状況 (単位：人)

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
1/23	平田	平田	31	6	19%	高見理事長 馬庭常務 日野理事 土江理事	勝田主任
		灘分	28	5	18%		
		国富	36	9	25%		
		久多美	29	7	24%		
		東	31	4	13%		
		佐香	11	2	18%		
1/24	斐川	荘原1	19	2	11%	高見理事長 馬庭常務	福島補佐
		荘原2	15	3	20%		
		荘原3	23	2	7%		
		出東	28	5	18%		
		出西	35	3	9%		
		伊波野	31	3	10%		
		直江	35	5	14%		
		久木	11	1	9%		

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
1/28	出雲南部・西部・大社	塩冶・古志	78	2	3%	高見理事長 馬庭常務 高野理事 川上理事	松井主任 中筋職員
		南部	31	5	16%		
		神門	40	6	15%		
		長浜・神西	32	3	9%		
		湖陵・佐田	24	5	21%		
		田儀	8	0	0%		
		岐久	11	0	0%		
		杵築北東	10	0	0%		
		杵築南西	31	2	6%		
		荒木	29	1	3%		
		遙堪	21	2	10%		
日御碕	6	0	0%				
1/29	出雲中央・北部	今市	46	2	4%	高見理事長 馬庭常務 長廻副理事長 高橋副理事長 原理事	高橋課長
		大津	52	7	14%		
		高松	55	5	9%		
		四絡	39	2	5%		
		高浜	20	2	10%		
		川跡・鳶巣	54	3	6%		

(2) シルバーの日ボランティア活動

10月のシルバー普及啓発月間のボランティア活動については、地区班助成金も廃止したことから自主的に実施してもらうこととしました。

表 27 令和元年度 地区班世話人名簿(令和2年4月1日現在)

地域	地区班名：世話人氏名(計29名)
出雲	塩冶・古志：佐々木進次、原俊夫 高松：中島健二、元田恵子 四絡：福島勲 高浜：竹下静雄 川跡・鳶巣：高橋充男 南部：西村実成 神門：宮里訓夫 長浜・神西：布野良市、小川勇
大社	杵築西・南：川合敏正 荒木：米原忠夫 遙堪：黒田治視 日御碕：永見新吉
平田	平田：加納秀夫、日野光男 佐香：山岡洋治
多伎	岐久：内田武
湖陵・佐田	湖陵・佐田：安食富夫、吉川康夫
斐川	荘原2：高本芳樹 荘原3：山下郁夫、伊波野：野津富吉、今岡宏直江：高野郁夫、山浦順 出東：竹下充、尾原時夫

10 第4次中期5か年計画のローリング

第4次中期5か年計画について、令和元年度もローリングをかけ、現状を踏まえて見直しをしました。

令和元年度決算では、事業収入の増、人件費の減等により正味財産は16,005千円となり、正味財産残高は35,630千円になり、4年間続いた赤字決算からようやく脱却することができました。しかしながら、平成元年度の資金繰表を見ると支出が多い時は4千万円を超える月もあることから、引き続き安定した財政基盤を築くため、財政健全化対策を推進していかなければなりません。

令和2年度も事業実績の動向や傾向を踏まえ、「第4次中期5か年計画」として、より実態に即した計画となるよう中期事業基本計画推進委員会(理事会)において検討していきます。

## 11 会議

### (1) 総会

第9回(通算第44回)定時総会(R1.5.30、ビッグハート出雲)

来賓：出雲市副市長 伊藤功氏

報告：平成30年度収支補正予算、令和2年度事業計画及び収支予算

議案：平成30年度事業報告・収支決算・監査報告、役員の選任、役員の報酬等及び費用に関する規程の改正、理事長への権限委任

表28 総会出席状況

総会名	開催日	出席者数	議決書面	委任状	会場
第44回(定時総会)	R1.5.30	103	378	113	ビッグハート出雲
第43回(定時総会)	H30.5.30	117	425	76	ビッグハート出雲
第42回(定時総会)	H29.6.6	129	354	104	ビッグハート出雲
第41回(定時総会)	H28.6.7	115	229	121	ビッグハート出雲
第40回(臨時総会)	H27.8.28	89	272	162	パルメイト出雲
第39回(定時総会)	H27.5.28	158	-	365	ビッグハート出雲
第38回(臨時総会)	H27.2.3	141	-		ビッグハート出雲
第37回(定時総会)	H26.5.28	149	-		ビッグハート出雲
第36回(通常総会)	H25.5.27	141	-		ビッグハート出雲
第35回(通常総会)	H24.3.27	177	-		ビッグハート出雲

### (2) 理事会

理事会は、7月、9月、11月、1月を除く毎月の定例会を8回と、総会時の臨時会1回の、合わせて9回開催しました。

第1回(H31.4.9、センター、理事9名中8名出席、監事2名中1名出席)

報告：事業実績、業務報告、平成31年度事務分担表、生涯現役促進地域連携事業の採択、大社連絡所の移転、役員立候補者名簿

議事：正会員の承認、派遣職員及びセンター職員衛生管理規則の制定

協議：平成30年度事業報告書及び収支決算書、総会提出予定議案

第2回(R1.5.8、センター、理事9名中7名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、空家等点検サービスの料金変更、シルバー派遣事業衛生管理規程

議案：正会員の承認、公益社団法人出雲市シルバー人材センター平成30年度事業報告及び収支決算・監査報告並びに第9回(通算第44回)定時総会の招集

第3回臨時会(R1.5.30)センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

議案：理事長、副理事長2名、常務理事の選任

第4回(R1.6.18、センター、理事9名中9名出席、監事2名中1名出席)

報告：事業実績、業務報告、監査結果報告書、監査の実施、令和元年度事務分担表

議案：正会員の承認

協議：委員会委員、B級野菜市

第5回(R1.8.20、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、監査結果報告書

議案：正会員の承認、理事会運営規程の改定、B級野菜市開催要項の改定、嘱託職員雇用規則の改定

その他：財政見込

第6回(R1.10.15、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、事故報告

議案：正会員の承認、除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則の改正

協議：財政見込(9月末現在の収支状況)、

第7回(R1.12.17、センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、「同一労働同一賃金」への対応、大社連絡所の移転、監査結果報告書

議案：正会員の承認、

協議：地区班会議の開催及び担当理事、財政見込(11月末現在の収支状況)、会員増対策

第8回(R2.2.18、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、正味財産増減計算書における収支状況(1月末現在)及び資金繰表

議案：正会員の承認、令和元年度第1回補正予算

協議：令和2年度事業計画(案)及び収支予算書(案)、除草請負業務歩掛り

第9回(R2.3.17、センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、安全就業委員会の開催結果、監査結果報告書、正味財産増減計算書における収支状況(2月末現在)及び資金繰表

議案：正会員の承認、令和2年度事業計画(案)及び収支予算書(案)、未収金に係る徴収不能欠損処分、臨時職員規則の一部改正

協議：令和2年度B級野菜市役員当番表(案)

表 29 令和元年度 理事・監事名簿

役職	氏名	所属委員会(○印は、委員長)	就任
理事長	高見英明	適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
副理事長	長廻國夫	○理事・監事候補者選考委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H21.5
副理事長	高橋充男	○適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H26.5
常務理事	馬庭 隆	中期事業基本計画推進委員会、	R1.5
理事	原 重利	○安全就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	高野郁夫	安全就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	日野光男	適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
理事	土江広敏	中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
理事	川上雄平	中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
監事	加納千久		H27.5
監事	宇田 弘		R1.5

任期：令和元年5月30日から令和3年度定時総会終了まで

(3) 委員会

安全就業委員会について、下記のとおり委員会を開催し、協議を重ねました。また、中期事業基本計画推進委員会の所管事項については、理事会の中で協議を行いました。

表 30 令和元年度 委員会開催状況

表 30-1 安全就業委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会(R1.10.7)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第2回委員会(R1.12.23)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第3回委員会(R2.3.6)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第1回70歳到達運転会員面接会(R2.2.17)	原重利、高野郁夫	福島補佐
第2回70歳到達運転会員面接会(R2.2.18)	水師末富、高橋恒夫	福島補佐
第3回70歳到達運転会員面接会(R2.2.19)	原重利、高橋恒夫	福島補佐
第1回80歳到達会員面接会(R2.2.20)	高野郁夫、水師末富	福島補佐
第2回80歳到達会員面接会(R2.2.21)	原重利、高橋恒夫	福島補佐
第3回80歳到達会員面接会(R2.2.25)	高野郁夫、水師末富	福島補佐

表 30-2 中期事業基本計画推進委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会 (R1.10.15 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第2回委員会 (R1.12.17 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第3回委員会 (R2.2.18 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第4回委員会 (R2.3.17 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事

(3) 理事及び監事候補者選考委員会

令和元年度は案件がなく、開催していません。

(4) 監査会

令和元年度も、四半期ごとの開催を基本とし、4月、7月、10月、1月の計4回の定例監査会と総括監査会(R1.5.7、平成30年度会計対象)を1回の、合わせて5回の監査会を開催しました。なお、事務局では、指摘された事項については、可及的速やかに改善措置をとるようにしています。

表 31 令和元年度 定例監査会での指摘事項

定例監査会	主な指摘事項
第1回(H31.4.17)	・特に指摘事項なし
第2回(R1.7.19)	・繁忙期に早急に対応できる会員の養成のための講習や実習等により受託事業を拡大すること
第3回(R1.10.23)	・遅滞未収金の管理で管理台帳と発注者カルテの記載の統一
第4回(R2.2.6)	・就業報告書の発注者の作業確認印漏れ

## 12 規程等の整備状況

公益社団法人としての基本の定めが定款で、いわばシルバーの「憲法」ともいえるものですが、組織経営・事業運営をするうえでは、より詳細な取り決めが必要となります。これが各種の規約、規程、規則、要綱などで、実務は、これらの規程等に依拠して行われます。しかし、規程等が欠けていたり、内容が不備のままであったりしては日常業務を適切に行うことはできません。

センターの規程等については、必要なものが制定されていない、長年放置され必要な改正等が行われていない、規程等の中での用語や記述・表記に整合性を欠くものがあるなど不備な状況となっていました。

こうしたことから、逐次、規程等の制定・改廃を行ってまいりましたが、未整備の規程等がまだあることから引き続き、適切な法制環境の整備に努めてまいります。

表 32 センターの現行規程等一覧（令和元年4月1日現在）

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
1 定款	1 定款	H25. 4. 1	H27. 2. 3
2 総規	2 顕彰規程	H17. 4. 1	H28. 4. 1
2 総規	5 個人情報保護に関する規程	H18. 4. 1	H18. 4. 1
2 総規	6 規程等の整備に関する規程	H27. 12. 8	H27. 12. 8
2 総規	7 特定個人情報事務取扱規則	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	8 特定個人情報取扱基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	9 個人情報保護基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	10 情報公開に関する規程	H29. 4. 1	H29. 4. 1
3 会員	1 会員の就業規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	2 配分金規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	5 会員会費規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	1 理事及び監事候補者選考要綱	H17. 4. 1	H23. 10. 1
4 役員	3 役員の報酬等及び費用に関する規程	H25. 4. 1	H30. 6. 1
4 役員	4 執行役員会開催要項	H27. 10. 29	H27. 10. 29
4 役員	5 役員立候補の手続に関する規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	6 役員立候補管理委員会要綱	H29. 3. 14	H29. 3. 14
5 総会	1 総会運営規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
6 理事会	1 理事会運営規程	H27. 8. 11	R1. 8. 20
6 理事会	2 理事会傍聴規則	H27. 8. 11	H27. 8. 11
7 組織	1 地区班組織設置要綱	H17. 4. 1	H28. 12. 13
7 組織	10 地区班会議開催要項	H27. 10. 13	H27. 10. 13
7 組織	13 安全就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	14 適正就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	15 作業別安全就業基準に関する要領	H29. 2. 14	H29. 2. 14
7 組織	16 委員会設置規程	H28. 7. 12	H28. 7. 12
7 組織	17 地区班交付金規則	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	18 女性部会規程	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	19 作業班に関する要綱	H31. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	1 財務規程	H17. 4. 1	H29. 4. 11
8 事務	4 事務処理運営要綱	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	6 旅費規程	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	7 事務費規程	H25. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	8 補助金等交付規則	H27. 4. 1	H27. 4. 1
8 事務	9 委員会委員の報酬及び旅費の支給に関する規則	H27. 8. 11	H29. 3. 14
8 事務	10 事務規程	H27. 10. 13	H29. 4. 1
8 事務	11 事務局業務の一部を会員に依頼する場合の取り扱いに関する要項	H27. 11. 1	H30. 7. 9
8 事務	12 特定費用準備資金等取扱規程	H28. 3. 8	H28. 3. 8

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
8 事務	13 会議出席者に対する報酬及び旅費の支給に関する規則	H28. 7. 12	H28. 7. 12
8 事務	14 センター所有車両運行管理規程	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	16 除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則	H30. 4. 1	R1. 10. 1
8 事務	17 損害賠償事案処理事務手数料徴収規則	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	18 B級野菜市開催要項	H30. 4. 1	R1. 8. 20
8 事務	19 空家等点検サービス実施要項	H30. 4. 1	H31. 4. 1
9 職員	1 職員就業規則	H17. 4. 1	H29. 3. 14
9 職員	2 職員給与規則	H17. 4. 1	H30. 1. 15
9 職員	8 嘱託職員雇用規則	H28. 4. 1	R1. 8. 20
9 職員	9 臨時職員規則	H28. 6. 14	R2. 4. 1
9 職員	10 職員退職手当要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	11 職員採用試験規程	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	12 パート職員規則	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	13 高年齢事務局長の採用等に関する規則	H28. 6. 14	H30. 6. 1
9 職員	14 職員福利厚生要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14

「適正就業ガイドライン」による除草請負業務の見積基準に基づく見積調査実施のため2名の臨時職員を雇用しました。

派遣事業の実績が大きく伸びてきて、契約する事業所数も約80社となり、現行人員の中で派遣事業の体制を強化し業務を推進しました。

厳しい財政状況を打開することと、適正就業を徹底していくことの両立を図ることは大変なことです。業務全般を考慮し、適宜、事務分担を見直していくなど、効率的な事務執行に努めてまいりました。来年度も引き続き、組織体制について検証し、見直すべきところは見直し、事務局運営の更なる改善を図っていきます。

表 33 令和元年度 職員名簿

役職名	氏名
事務局長	常務理事兼務 馬庭隆(管理課長事務取扱)
業務課長	高橋正樹
管理課課長補佐	福島勉(兼業務課長補佐)
業務課主任	勝田善富(兼管理課主任)、松井秀美(兼管理課主任)
嘱託職員	坂根秀樹、青木祐美、芦田美千代
臨時職員	持田清次、吉田正弘、細田恵子、藤江廣一、中筋千香子、坂根洋二、渡部利雄
嘱託職員(生涯現役促進協議会へ出向)	吉田功、兒玉光弘、竹田博

以上